

理 由 書

本理由書は、都市計画法第21条第2項の規定において準用する同法第17条第1項の規定に基づき、都市計画の変更についての理由を示したものである。

1 施行区域の位置、現状及び課題

入間都市計画区域は、都心から約40km圏にあり、埼玉県南西部に位置しており、入間都市計画区域に含まれる土地の区域は入間市の行政区域の全域である。

【入間市駅北口土地区画整理事業区域】

本区域は、入間市の北部、西武池袋線入間市駅の北側に接した位置にあり、東側は住宅・都市整備公団施行による入間黒須団地及び狭山市との行政界に、南側から西側にかけては西武鉄道池袋線に、西側から北側にかけては一級河川霞川にそれぞれ接した区域である。

駅前という位置的優位性を有しながら、駅前には西武鉄道株式会社所有の一団の空閑地が広がり、旧来からの街並みが現存するなど、地域の活性化を図るうえで大きな妨げとなっている。

2 変更の目的及び必要性

本区域について、社会状況の変化を踏まえ総合的な見直しを行った。その中で鉄道用地により隔てられた区域について、一体的に整備する必要性がないことが明確になったことから、当該部分を縮小した施行区域の変更を行うものである。

3 施行区域の上位計画における位置づけ

【第6次入間市総合計画前期基本計画】（平成29年3月策定）

○入間市駅周辺を商業・業務の中心として拠点的形成していく。

【入間都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針】（平成29年1月変更告示）

○入間市駅の周辺は、環境との調和に配慮しながら、商業業務施設、公共施設、医療・福祉・子育て支援施設など多様な都市機能を集積し、まちの顔となる拠点的形成する。

【入間市都市計画マスタープラン】（平成31年3月改定）

○入間市駅周辺を商業・業務の中心拠点とし、都市活動を牽引していくための拠点として形成していく。

○入間市駅北口の都市基盤整備を推進することにより、まちの顔としてふさわしい駅前空間の整備を図るとともに、良好な景観の形成に努める。

4 関連する都市計画の決定状況

なし